

広報誌「矢総二期だより」の創刊に寄せて

農林水産省東海農政局 矢作川総合第二期農地防災事業所長 長山政道



日頃から「矢作川総合第二期地区」の推進に御理解と御協力を賜り、御礼申し上げます。本誌の創刊に当たって、御挨拶申し上げます。

本事業のうち明治地域は、明治13年の明治用水通水を契機として、飛躍的な発展を遂げた複合農業先進地で、昭和期には、明治用水の高度化（工水との共同利用）、水路のパイプライン化とほ場整備により、水管理の合理化が図られました。同じく昭和期、北部地域では、新たな用水路の整備により水不足が解消され、安定した農業経営が実現しています。

平成期になると、これらの地域では、大規模地震の危険性が強く指摘され、施設の耐震化が急務となったことから、農林水産省は、受益者約1万7千人の要望を受け、県、市、地域住民の御理解を得て、本事業によって「令和の大改修」を実施しているところです。

事業着工から10余年経過し、地域の方々に本事業の「今」を伝えるため、広報誌「矢総二期だより」を創刊することとしました。矢作川流域における農業を守り、発展させていくため、本誌が地域の皆様との交流の一助となることを祈念いたします。

「矢総二期」とは??

国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」、通称、矢総二期（やそうにき）地区は、大規模地震に備えて、農業水利施設の耐震化対策を行っています。

Q なぜ耐震化対策を行うの？

南海トラフ巨大地震に代表される大規模地震の発生確率が高まっており、特に本地域では、深刻な地震災害が懸念されています。一方、本地域の農業水利施設は、必要な耐震性がありません。これらが壊れ、農業生産や地域社会に甚大な被害を与えることを未然に防ぐため、耐震化を図っています。



明治用水頭首工



日本デンマークと呼ばれて100年
(田んぼアート(安城市))

Q どのような地域を守っているの？

本地域は、水稻、小麦等の大規模な土地利用型農業を中心として、特産品である果物や野菜も生産する優良農業地帯で、大正末期から昭和初期にかけて「日本デンマーク」と呼ばれていました。食料の国内生産の拡大が一層重要となる中で、本地域の農業をしっかりと守っていく必要があります。

Q 現在どのような工事を行っているの？

よくぞ聞いてくれました。次ページへ！

「矢総二期地区」

令和7年度工事の実施状況

矢総二期地区における工事の実施状況や今年度の予定について、お知らせします。

北部地域

矢作川の水を岩倉取水工で取水し、北部幹線水路及び豊田幹線水路を通して、豊田市の農地に水を届けています。



このうち最上流部の基幹的な施設である岩倉取水工については、耐震化対策を既に完了しています。また、北部幹線水路は、農業用水のほか、上水・工水を供給しており、断水が困難であるため、工事に当たっては、用水を一時的に迂回（仮廻し）させる必要があります。そのため、バイパス水路として、北部幹線「併設」水路を新たに造成する計画としています。

現在、この北部幹線併設水路を造成するためのトンネル工事を実施しています。令和7年度は、併設水路の上流側から発破（北①）、下流側からシールドマシンによってトンネルを掘削する工事（北②・③）を引き続き実施してまいります。

明治地域

矢作川の水を明治用水頭首工で取水し、明治幹線水路（明治本流から各井筋・神楽山用水）を通して、安城市ほか7市の農地に水を届けています。このうち明治用水頭首工（本体）については、耐震化対策を既に完了しています。現在、その下流にある明治本流の改修工事を行

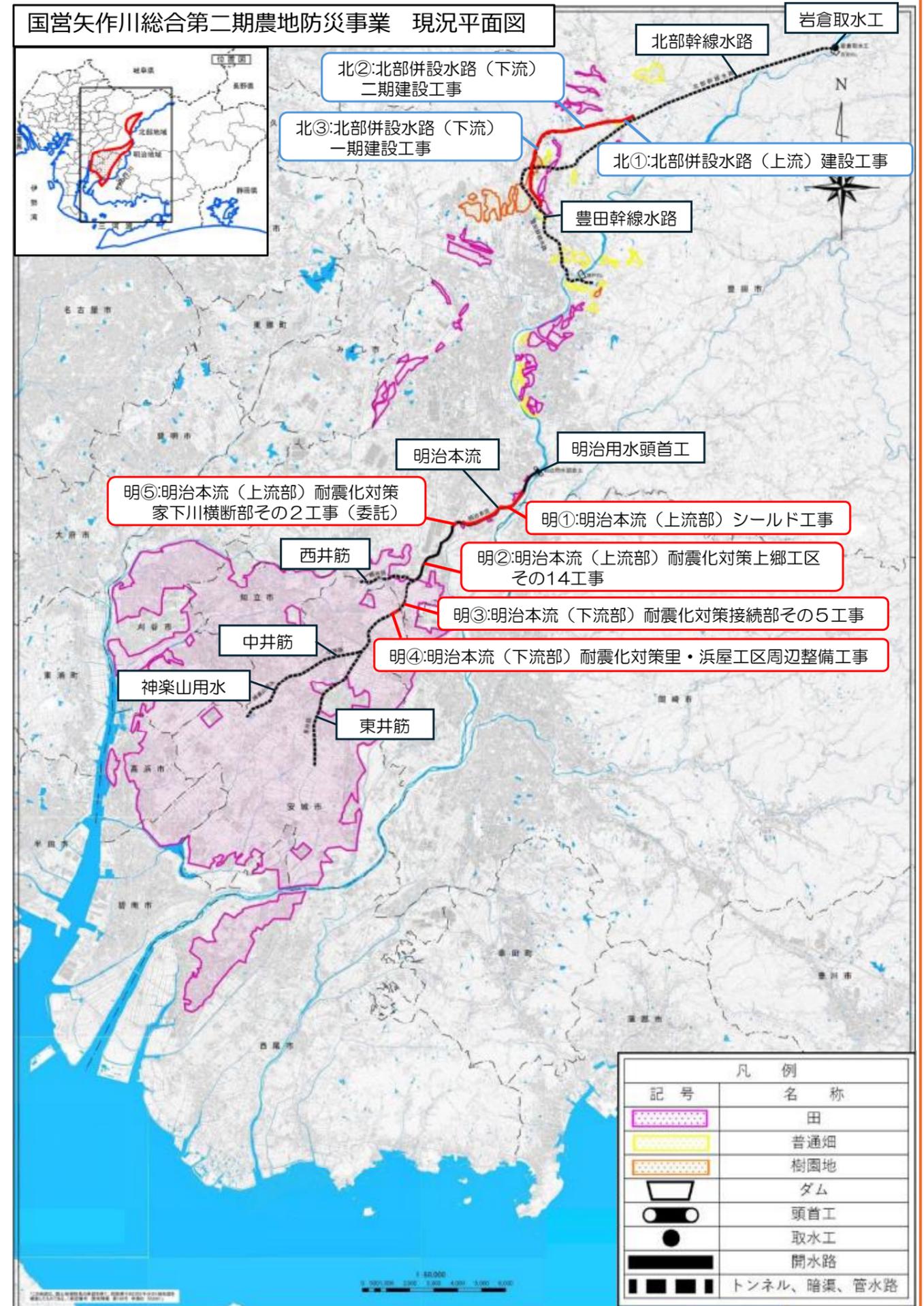
っています。

特に、明治本流のうち民家密集区間では、既設水路の耐震化（全面改修）のためにバイパス水路を必要とすることから、既設水路の直下約20mの深さにトンネルをシールドマシンによって掘削中です。

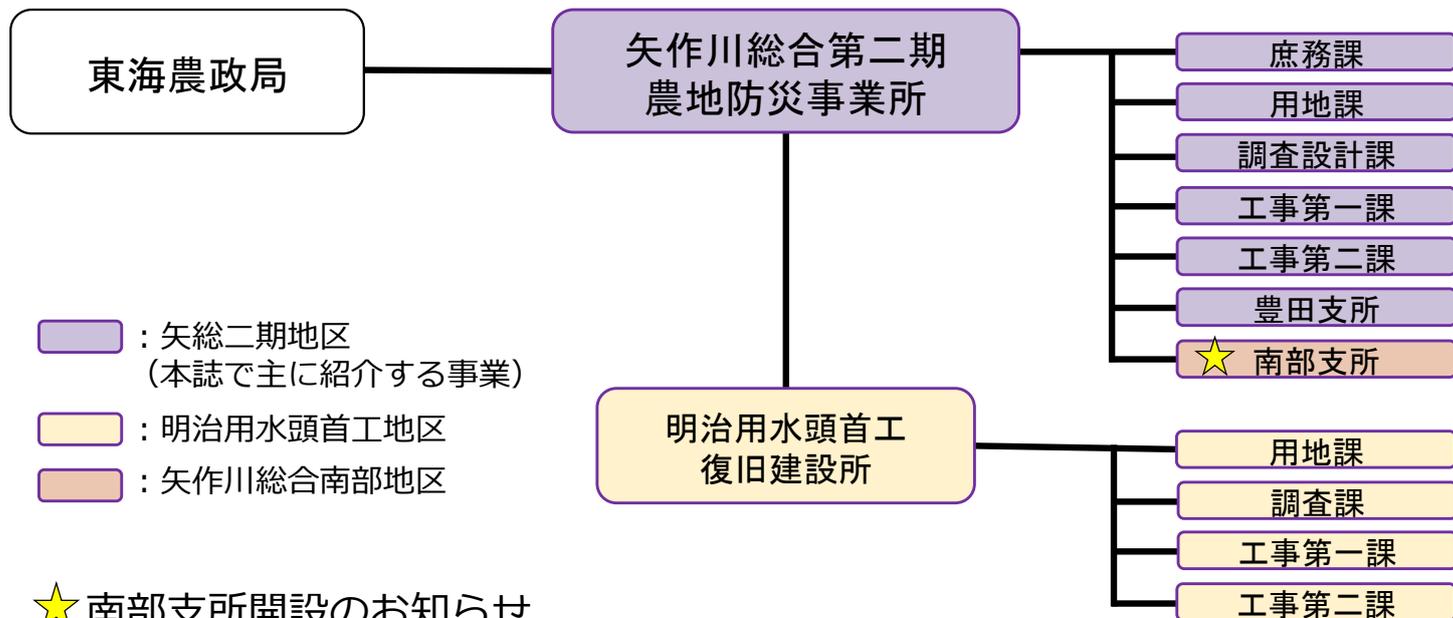
令和7年度は、このシールド工事（明①）に加えて、明治本流のうち頭首工から^{ひろくて}広畔制水門までの上流部において1件（明②）、広畔制水門からの下流部において2件（明③・④）、大規模な仮廻しを行いながら、既設水路の耐震化（改修）を実施します。また、愛知県への委託工事として、家下川横断部の既設水路の改修（明⑤）も継続して実施予定です。



なお、両地域で造成中のパイパス水路については、既設水路が耐震化対策（コンクリート壁の増厚等）により通水量が不足するため、耐震化対策後も用水供給を補う役割を果たすとともに、水路の複線化によって、地域農業・社会の発展を新たに支えることとなります。



組織概要



令和7年4月、南部支所を開設しました。当支所では、令和6年度に発生した、南部幹線水路の漏水事故復旧工事を実施します。

TOPIC

矢総二期事業所では、小学生への出前授業や工事見学会などイベントを多数開催しており、今後、本誌でも紹介予定です。お楽しみに！



生き物調査・環境学習会



農業に関する出前授業



トンネル見学会

編集・発行

農林水産省東海農政局矢作川総合第二期農地防災事業所
愛知県安城市大東町22番16号 TEL:0566-71-4611



本誌電子版は
こちらから

～編集後記～

「矢総二期だより」創刊号をお読みいただきありがとうございます。矢総二期地区の事業目的・意義の発信や事業進捗の一層の見える化のため、令和7年度から広報誌を発行する運びとなりました。まずは、皆様に親しみをもって、矢総二期（やそうにき）を愛称として覚えていただけるよう努めてまいります。

地域の皆様には、工事による通行規制や振動・騒音等で御迷惑をおかけいたしますが、引き続き、円滑な事業推進への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。（ふ）